

マイクロカセット™ コーダー

取扱説明書 Operating Instructions

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

M-729V

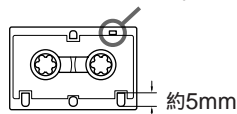
Sony Corporation © 1997 Printed in Japan



ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- マイクロカセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- カセットテープは(MICROCASSETTE™)の表示があるものをご使用ください。この表示のないテープは、このマイクロカセットコーダーでは使用できない場合があります。(A)

テープA面には小さなくぼみがあり、暗いところでもA面B面の区別ができます。



MICROCASSETTE™ のテープ



MICROCASSETTE™ 以外のテープ

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

主な特長

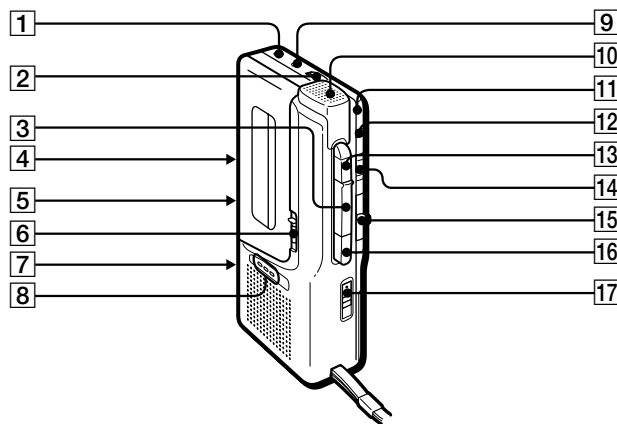
- 電池の消耗を2段階で知らせるBATT (電池残量) ランプと電池の交換時期を知らせる電池交換 ランプ。
- 録音内容ごとに信号音を入れておくことにより、キュー/レビュー時に頭出しができる、CUE MARKER (キューマーカー) 機能。
- 再生の速度を普通より速め、効率良く聞き返すのに便利な、FAST PB (ファーストプレイバック) (速聞き再生) 機能。
- 一定の強さ以上の音声を検知して自動的に録音が始まり、それ以下の音声になるとテープが止まるVOR (自動音声録音スタート) 機能。
- 再生モードから直接録音モードにできる後追い録音機能。
- TAPE COUNTER (テープカウンター)
- 再生・録音時にテープの終わりで自動的に動作が止まる、オートシャットオフ機能。
- 停止ボタンを押すと一時停止も解除される、ストップポーズリリリース機能。解除を忘れて録音チャンスを逃してしまう失敗を減らします。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111

各部のなまえ



- | | | | |
|---|-------------------------------|----|--|
| 1 | EAR (イヤホン) ジャック | 9 | MIC (マイク) ジャック |
| 2 | VOL (音量) つまみ | 10 | MIC (マイク) |
| 3 | ◀ (再生) ボタン | 11 | REC (録音) ランプ |
| 4 | FAST PB (ファーストプレイバック) スイッチ | 12 | CUE MARKER (キューマーカー) ボタン |
| 5 | TAPE SPEED (テープスピード) 切り換えスイッチ | 13 | ● (録音) ボタン |
| 6 | TAPE COUNTER (テープカウンター) | 14 | ◀ PAUSE (一時停止) スイッチ |
| 7 | DC IN 3Vジャック | 15 | キュー / レビュー CUE (早送り) / ◀◀▶▶ / REVIEW (巻戻し) つまみ |
| 8 | BATT (電池残量) ランプと電池交換 ランプ | 16 | ▶▶ (取り出し / 停止) ボタン |
| | | 17 | VORスイッチ |

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではマイクロカセットコーダーの補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ

海外での保証とアフターサービスについて

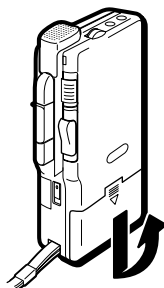
- 保証期間は、日本国内ではお買い上げ日より1年間、海外では90日です。
- 海外での修理やアフターサービスについてご不明な点は、保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にお問い合わせください。

乾電池を入れる

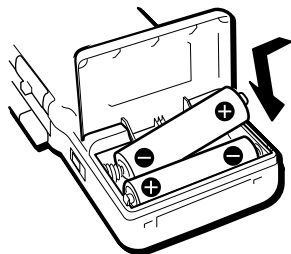
ここでは乾電池での使いかたを説明します。コンセントでの使いかたは、「電源について」をご覧ください。

1 付属の乾電池を入れる [B]-a

① 押しながら矢印の方向へずらし、持ち上げる



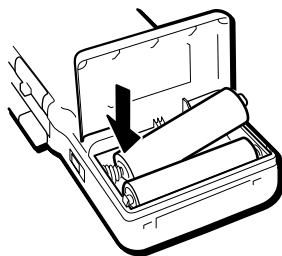
② 単3形乾電池2本を入れる



ご注意

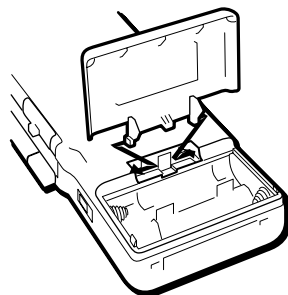
- 新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池の⊕、⊖に気を付けてください。メーカーによっては区別がつきにくいことがあります。

乾電池を取り出すときは [B]-b



電池入れのふたがはずれたときは [B]-c

電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合は図のようにふたを少しまげて取り付けてください。



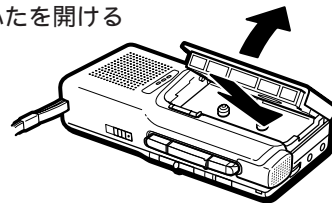
録音する

内蔵マイクですぐに録音できます。

1 カセットを入れる [C]-a

① ▶■ (取り出し / 停止) を押し、ふたを開ける

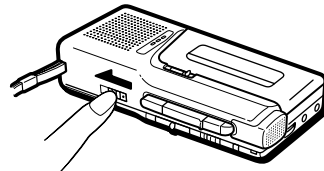
② 録音を始める面をふた側にしてカセットを入れる



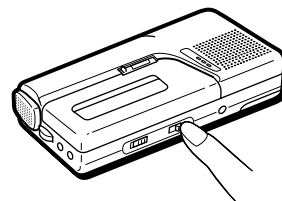
③ ふたを閉める

2 VORスイッチを「OFF」にする [C]-b

ここでは通常の録音のしかたを説明します。VOR機能を使った録音については「いろいろな録音のしかた」をご覧ください。



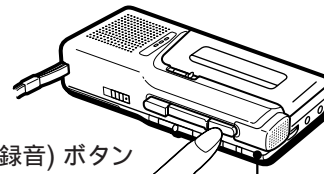
3 テープ速度を選ぶ [C]-c



TAPE SPEED (テープスピード) 切り換えスイッチ

4 録音する [C]-d

● (録音) ボタンを押す



REC (録音) ランプが点灯 (音の強弱にあわせて明るさがかわります。)

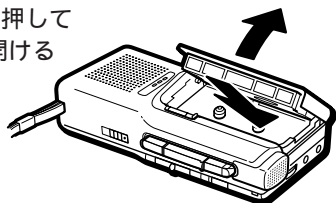
操作	押すボタン、ずらすつまみ
録音を止める	▶■ (取り出し / 停止)
一時停止する	◀ PAUSE (一時停止) スイッチを矢印の方向にずらす (REC (録音) ランプとBATT (電池残量) ランプ、または⏻ (電池交換) ランプが消灯する)。一時停止を解除するには、◀ PAUSE (一時停止) スイッチを元に戻す
カセットを取り出す	▶■ (取り出し / 停止)

テープを聞く

内蔵スピーカーから音が聞こえます。

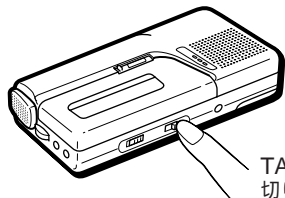
1 カセットを入れる [D]-a

- ①▶■ (取り出し / 停止) を押してふたを開ける
- ②再生を始める面をふた側にしてカセットを入れる
- ③ふたを閉める



2 テープ速度を選ぶ [D]-b

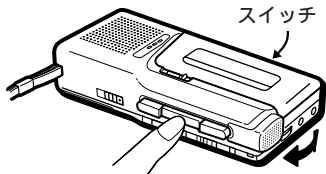
録音したときの速度に合わせます。



TAPE SPEED (テープスピード) 切り換えスイッチ

3 再生する [D]-c

- ①◀ (再生) ボタンを押す
 - ②VOL ▲ (音量) つまみで音量を調節する
- FAST PB (ファーストプレイバック) スイッチ



操作	押すボタン、ずらすつまみ
テープを止める	▶■ (取り出し / 停止)
一時停止する	◀ PAUSE (一時停止) スイッチを矢印の方向にずらす (BATT (電池残量) ランプが消灯する)。一時停止を解除するには、▶ PAUSE (一時停止) スイッチを元に戻す。
早送りする*	停止中に CUE (早送り) / ◀◀▶▶ / REVIEW (巻戻し) つまみを CUE (早送り) / ◀◀ の方向にずらす。 **
巻き戻す*	停止中に CUE (早送り) / ◀◀▶▶ / REVIEW (巻戻し) つまみを ▶▶ / REVIEW (巻戻し) の方向にずらす。 **
音を聞きながら早送りする (CUE)	再生中に CUE (早送り) / ◀◀▶▶ / REVIEW (巻戻し) つまみを CUE (早送り) / ◀◀ の方向にずらす (指を離すとそこから再生する)。 **
音を聞きながら巻き戻す (REVIEW)	再生中に CUE (早送り) / ◀◀▶▶ / REVIEW (巻戻し) つまみを ▶▶ / REVIEW (巻戻し) の方向にずらす (指を離すとそこから再生する)。 **

* 早送り、巻き戻しをしてテープが巻き取られたあと、そのままにしておくと電池が急激に消耗するので必ず▶■ (取り出し / 停止) ボタンを押してください。
** テープは▶▶ REVIEW (レビュー) 時のほうが CUE ◀◀ (キュー) 時よりも速く巻き取られます。

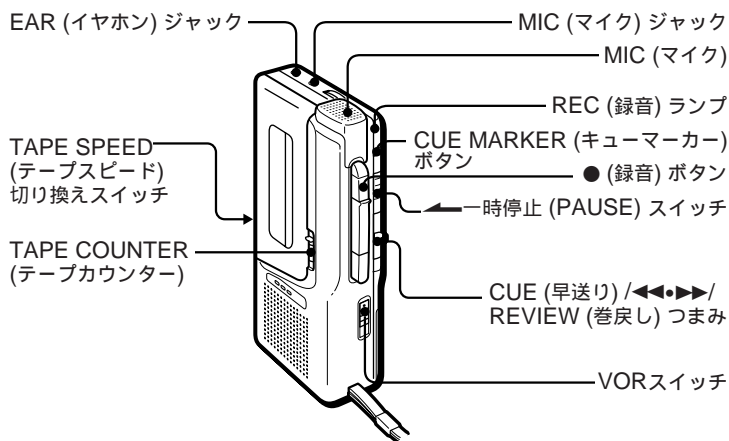
ご注意

再生中に巻き戻し (レビュー) をしてテープの始めまで巻き取られた時、指を離してもキュー (早送り) / ◀◀▶▶ / レビュー (巻き戻し) つまみが中央に戻らないことがあります。このような場合は、つまみを中央に戻すと再生が始まります。

テープを速聞きするには (ファーストプレイバック)

FAST PB (ファーストプレイバック) スイッチを矢印の方向にずらします。元の速度に戻すには矢印の反対方向にずらします。効率良く聞き返したいときに便利です。

いろいろな録音のしかた [E]



TAPE COUNTER (テープカウンター) を使う

録音を始める前に、TAPE COUNTER (テープカウンター) のリセットボタンを押して「000」にします。録音の頭を探すのに便利です。

テープ速度

TAPE SPEED (テープスピード) 切り換えスイッチでテープ速度を選びます。

- 2.4cm : 通常の録音をするとき
「1.2cm」のときより良い音で録音できます。
- 1.2cm : テープを2倍の長さを使って録音するとき
(MC-60を使うと往復120分の録音ができます。)

ご注意

- 再生は録音と同じテープスピードで行ってください。他のマイクロカセットレコーダーで再生する可能性がある場合は、なるべく2.4cm/sの速さで録音してください。1.2cm/sの速さで録音したテープを、他のマイクロカセットレコーダーで再生すると、再生音が異なる場合があります。

音がしたとき自動的に録音を始める (VOR機能)

VORスイッチを「H (高)」または「L (低)」に切り換えておきます。

- ボタンを押すと、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると止まります。録音の途中でテープを止める手間は省けるので口述録音するときに便利です。また、空録音の部分がなくなり、テープが有効に使えます。

録音状態	つまみの位置
小さな音でも録音が始まる (会議などを録音するとき)	H (高)
比較的大きな音のときだけ録音が始まる (口述録音するとき)	L (低)

ご注意

- VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてVORスイッチを「H (高)」または「L (低)」にしてください。VORスイッチを操作しても思い通りに録音できないときは、VORスイッチを「OFF (切)」にしてください。
- 音を感じてから録音が始まるので、言葉の初めの部分は録音されないことがあります。大切な録音のときは、VORスイッチを「OFF (切)」にしてください。

録音中の音を聞くには

イヤホンをEAR (イヤホン) ジャックにつなぎます。聞こえる音量は一定でVOL (音量) ▲ つまみで調節することはできません。

後追い録音をする

再生中に● (録音) ボタンを押すと、そこから録音状態になります。録音したものの一部分を修正したいときなどに便利です。

録音したものをすぐに聞く(ワンタッチレビュー)

録音中にCUE (早送り) / ◀◀▶▶ / REVIEW (巻戻し) つまみを▶▶ / REVIEW (巻戻し) の方向にずらすとテープが巻き戻され、手を離すとそこから再生が始まります。

キューマーカーを録音するには

録音中にCUE MARKER (キューマーカー) ボタンを押すことによって、目印としての信号を録音することができます。
CUE MARKER (キューマーカー) ボタンを押すと、REC (録音) ランプが消灯して、信号がテープに録音されます。さらに長い信号を録音したい場合は、ボタンを押し続けてください。
再生状態で早送りをしたり(CUE)、巻き戻したり(REVIEW)すると、信号が録音されているところで音(ブー)がして知らせます。また、再生中も低い音(ブー)が聞こえます。

ご注意

- キューマーカーは音声のとぎれたところでお使いください。
- キューマーカーの信号音はキュー時とレビュー時では音質が違います。
- キューマーカーの信号音は、テープの最初と最後では巻き取られる速度が異なるため、テープの箇所によって音質が違います。

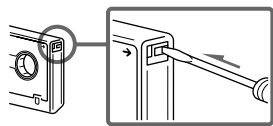
テープが終わりまでくると(オートシャットオフ機構)

録音または再生状態でテープが終わりまで巻き取られると、押し込まれていたボタンは自動的に元に戻ります。
早送り、巻き戻しをしたときはCUE (早送り) / ◀◀▶▶ / REVIEW (巻戻し) つまみを中央に戻してください。

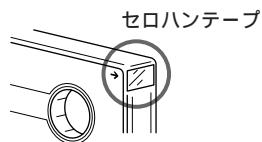
大切な録音を守るには **F**

カセットのツメを折ると録音状態にできなくなるので、録音した音声を誤って消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をふさぐと再び録音できます。図に示された部分以外にはテープを貼らないでください。

ツメの折りかた



再び録音するには



他の機器と接続して録音 / 再生する

ご注意

- 接続コード類のプラグはしっかり差し込んでください。
- 下の例はソニー製品の場合です。他社製品との接続がうまくいかないときは、その製品の説明書をご覧ください。

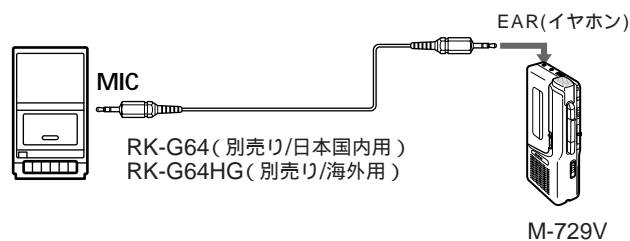
他のテープレコーダーから録音する **G-a**

本機を録音状態にして、接続したモノラルテープレコーダーを再生状態にします。
VORスイッチを「OFF (切)」にします。



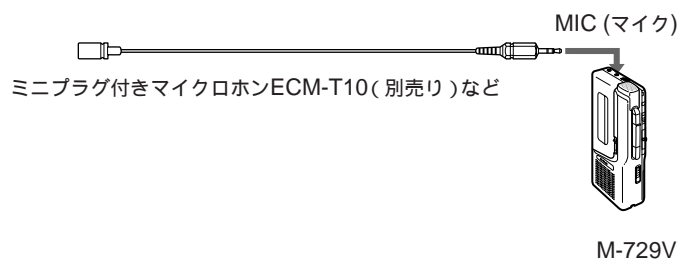
他のテープレコーダーへ録音する **G-b**

本機を再生状態にして、接続したモノラルテープレコーダーを録音状態にします。



外部マイク (別売り) から録音する **G-c**

外部マイクを本機のMIC (マイク) ジャックにしっかりとつなぎます。プラグインパワー方式のエレクトレットコンデンサーマイクロホンをつなぐと、本機から電源が供給されます。



電源について

乾電池の持続時間

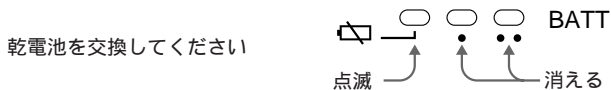
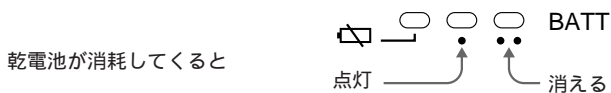
使用電池	録音時 (EIAJ)
ソーニールカリ乾電池LR6 (SG) 使用時	約19時間
ソーニール乾電池ニユースーパーR6P (SR) 使用時	約5.5時間

乾電池は持続時間の長いアルカリ乾電池をおすすめします。

乾電池を交換する時期^H

再生 / 録音時の乾電池の残量はBATT (電池残量) ランプでお知らせします。

電池が消耗すると、テープ走行が不安定になったり雑音が多くなったりします。再生 / 録音中に^H (電池交換) ランプが点滅したら、乾電池を2本とも新しいものと交換してください。



ご注意

- ^H (電池交換) ランプが点滅し始めても、しばらくはテープが動きますが、正常な音で再生できなくなり、録音時には、雑音が録音されたり、録音される音が小さくなりますので、必ず乾電池を交換してください。
- 次のような場合には電池を交換する必要はありません。
 - 再生中に音量を上げたときなどに^H (電池交換) ランプが音に応じて一時的にちらついた場合。
 - テープの動きははじめやテープの終わりで、^H (電池交換) ランプが瞬間的に点灯した場合。
 - 早送り (CUE) / 巻き戻し (REVIEW) 中に^H (電池交換) ランプが点滅した場合。
- 別売りの充電式電池でお使いの場合、充電してあってもBATT (電池残量) ランプが1つしか点灯しないことがあります。

コンセントにつないで使う

- 1 別売りのACパワーアダプターAC-E30M (日本国内用) またはAC-E30HG (海外用) を本体のDC IN 3Vジャックにつなぎます。
- 2 ACパワーアダプターをコンセントにつなぎます。

ご注意

この製品には、別売りのACパワーアダプターAC-E30M またはAC-E30HG (別売り) (極性統一形プラグ・EIAJ規格) をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



ご注意

録音について

- カセットテープは(MICROCASSETTE)TMの表示があるものをご使用ください。
- 録音中、マイクを電灯線や蛍光灯に近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。

乾電池について

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことは必ずお守りください。

- ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
- 乾電池は充電できません。
- 長い間使わないときは、取り出しておいてください。
- 液もれが起こったときは、液をよくふきとってから新しい乾電池を入れてください。
- 持ち運ぶときはキーホルダーなどの金属類と一緒にポケットに入れてください。乾電池の⊕⊖が金属とつながるとショートし、発熱して危険です。
- 別売りのACパワーアダプターやカーバッテリーコードをDC IN 3Vジャックにつないでいると、乾電池ではお使いになれません。

環境汚染の軽減と経済性を考えて

本機は、乾電池の他に

- 別売りのニカド充電式電池NC-AA-2B (別売りのバッテリーチャージャーBC-30K2にて充電可能)
- 別売りのACパワーアダプターAC-E30M (日本国内用) またはAC-E30HG (海外用) でもお使いになれます。

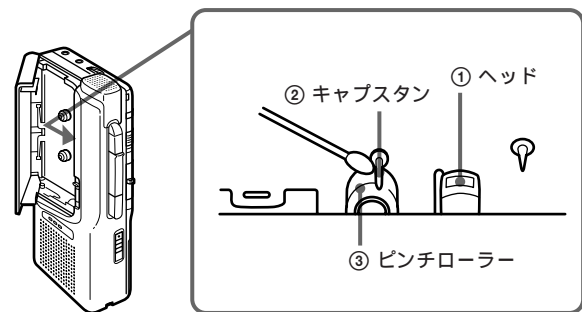
取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 温度が非常に高いところ (60 以上)。
 - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - 窓を閉めきった自動車内 (特に夏季)。
 - 風呂場など湿気の多いところ。
 - 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
 - ほこりの多いところ。
- 長い間使わなかったときは、再びお使いになる前に、数分間再生状態にして空回しをしてください。良い状態でお使いいただけます。

キャッシュカードや定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると、マグネットの影響で磁気に変化してカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

お手入れ ^I



よい音でテープを聞くために

10時間程度使ったら、◀ (再生) ボタンを押し込んだあとに、別売りのクリーニングキット (KK-41) でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。

本体表面が汚れたときは

水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

故障かな？

修理に出す前にもう1度お調べください。

症状	原因 / 処置
カセットが入らない。	<ul style="list-style-type: none">カセットの向きが正しくない。◀(再生) ボタンが押し込まれている。
カセット入れのふたが閉まらない。	<ul style="list-style-type: none">カセットを本体側に入れている。(カセットはふた側に入れる。)◀(再生) ボタンが押し込まれている。
◀(再生) ボタンを押しても再生されない。	<ul style="list-style-type: none">テープが終わりまで巻き取られている。乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。
●(録音) ボタンが押し込めない。	<ul style="list-style-type: none">カセットが入っていない。カセットのツメが折れている。→録音内容を消してもよい場合は穴をふさぐ。
●(録音) や◀(再生) ボタンが押し込めない。	<ul style="list-style-type: none">テープが終わりまで巻き取られている。オートシャットオフの後、一時停止スイッチが矢印の方向へずらされている。
録音できない。	<ul style="list-style-type: none">乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。ヘッドが汚れている。→クリーニングする。VOR使用時に感度の設定が不適切。
録音が途中で止まる。	<ul style="list-style-type: none">VORが働いている。VORを使用しないときは、スイッチを「OFF(切)」にする。
前の音が完全には消えない。	<ul style="list-style-type: none">ヘッドが汚れている。→クリーニングする。
キュー(早送り) / レビュー(巻戻し) 中、途中で止まる。または動かない。早送りや巻戻しができない。	<ul style="list-style-type: none">乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。
操作ボタンを押しても動作しない。	<ul style="list-style-type: none">乾電池の⊕と⊖の向きが正しくない。乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。一時停止スイッチが矢印の方向へずらされている。ACパワーアダプターが正しく接続されていない。ACパワーアダプターやカーバッテリーコードが本体に差したままになっている。→ACパワーアダプターやカーバッテリーコードがジャックに差してあると、それが優先されるので、乾電池使用時には本体から抜いておく。
スピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">イヤホンが差し込まれている。音量が最小になっている。
音が小さい。音質がよくない。雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none">音量が絞られている。乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。ヘッドが汚れている。→クリーニングする。
再生速度が速すぎたり、遅すぎたりする。	<ul style="list-style-type: none">TAPE SPEED(テープスピード) 切り換えスイッチの位置が録音時と違う位置にある。
再生速度が通常より速い。	<ul style="list-style-type: none">FAST PB(ファーストプレイバック) スイッチが矢印の方向へずらされている。

主な仕様

トラック方式	マイクロカセットモノラル
スピーカー	直径36mm
テープ速度	2.4cm/s、1.2cm/sのスピード切り換え
周波数範囲(EIAJ*)	TYPE I(ノーマル)カセット 250~4,000 Hz
入力端子	マイク(ミニジャック/プラグインパワー対応)(1) 最小入力レベル 0.24 mV インピーダンス 3k 以下のマイク用 イヤホン(ミニジャック)(1) 負荷インピーダンス 8~300 のイヤホン用
出力端子	
実用最大出力(DC時)	260 mW (EIAJ)
電源	DC 3V、単3形乾電池2本使用
最大外形寸法	約65.1 × 121.4 × 25.2 mm (幅/高さ/奥行き) (EIAJ) 最大突起部含む
質量	本体 約130g ご使用時 約175g(乾電池R6P(SR) 2本、マイクロカセットテープMC-60含む)
付属品	ソニー乾電池R6P(SR) (2) マイクロカセットテープMC-30 (1) イヤホン (1) キャリングケース (1) 取扱説明書 (1) 保証書 (1) ソニーご相談窓口のご案内 (1)
別売リアクセサリー	ACパワーアダプター AC-E30M(日本国内用)、AC-E30HG(海外用)(極性統一形プラグ・EIAJ規格) カーバッテリーコード DCC-E230 接続コード RK-G64(日本国内用)、RK-G64HG(海外用) イヤホン ME-81、ME-L82 クリーニングキット KK-41

*EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

English

As you read, refer to the illustrations in the Japanese corresponding text (labeled with [A], [B], etc.)

▶ Getting Started

Preparing a Power Source

Choose one of the following power sources.

Dry Batteries [B]-[a]

Make sure that nothing is connected to the DC IN 3V jack.

- 1 Open the battery compartment lid.
- 2 Insert two size AA (R6) batteries (supplied) with correct polarity and close the lid.

To take out the batteries [B]-[b]

To attach the battery compartment lid if it is accidentally detached [B]-[c]

Attach as illustrated.

Battery life (Approximate hours)


	Recording
Sony alkaline LR6 (SG)	19
Sony R6P(SR)	5.5

We recommend to use long-life alkaline batteries.

Notes




- Do not charge a dry battery.
- Do not use a new battery with an old one.
- Do not use different types of batteries.
- When you do not use the unit for a long time, remove the batteries to avoid any damage caused by battery leakage and subsequent corrosion.
- Dry batteries will not be expended when another power source is connected.

When to replace the batteries [H]

Replace the batteries with new ones when the BATT (battery) lamps go off and the  lamp flashes.

The BATT lamps change as illustrated.

Notes

- The unit will play back normally for a while, even after the  lamp flashes. However, replace the batteries as soon as you can. If you do not, the playback cannot be made with normal sound, noise may be recorded and the recorded sound will not be loud enough.
- In the following cases you do not need to replace the batteries:
 - if the BATT lamps flash with the playback sound when you turn up the volume.
 - if the  lamp lights momentarily when the tape starts running or at the end of the tape.
 - if the  lamp flashes during FF (CUE/◀◀) or REW (▶▶/REVIEW).
- In some cases when the unit is used with rechargeable batteries (not supplied), only one BATT lamp will light even though the batteries have been fully charged.

House Current

Connect the AC power adaptor to DC IN 3V and to the wall outlet. Use the AC-E30M (in Japan) or AC-E30HG (in other countries) AC power adaptor (not supplied). Do not use any other AC power adaptor.



Polarity of the plug








▶ Operating the Unit

Recording

You can record the sound easily with the built-in microphone.


- 1 Press  (eject/stop) to open the cassette compartment lid.
- 2 Take out any slack in the tape and insert the cassette with the side to start recording facing the lid. [C]-[a]
- 3 Close the cassette compartment lid.
- 4 Set VOR to L, H or OFF. For details, see "VOR (Voice Operated Recording)". [C]-[b]
- 5 Select the desired tape speed. [C]-[c]
- 6 Press  (record). [C]-[d] The REC lamp lights. Recording starts. The REC lamp flashes depending on the strength of the sound.




To	Press or slide
Stop recording	 (eject/stop)
Pause recording	Slide  PAUSE in the direction of the arrow. The REC and BATT (or ) lamps go off. To resume recording, slide  PAUSE in the opposite direction of the arrow.
Take out a cassette	 (eject/stop)


Note

Select the 2.4 cm tape speed for recording, if you play back the recorded tape with another unit. Otherwise, the sound quality may be changed.

Playing a Tape

- 1 Open the cassette compartment lid.
- 2 Insert a cassette with the side to start playing facing the lid. [D]-[a]
- 3 Close the cassette compartment lid.
- 4 Select the tape speed to the same speed as that used for recording. [D]-[b]
- 5 Press  (play) then adjust VOL (volume). [D]-[c]

To	Press or slide
Stop playback/stop fast forward or rewind*	 (eject/stop)
Pause playback	 PAUSE in the direction of the arrow. The BATT lamp(s) goes off. To resume playback slide  PAUSE in the opposite direction of the arrow.
Fast forward during stop*	Slide CUE/◀◀▶▶/REVIEW toward CUE/◀◀**.
Rewind during stop*	Slide CUE/◀◀▶▶/REVIEW toward ▶▶REVIEW**.
Search forward during playback (CUE)	Keep CUE/◀◀▶▶/REVIEW pushed toward CUE◀◀ during playback and release it at the point you want.**
Search backward during playback (REVIEW)	Keep CUE/◀◀▶▶/REVIEW pushed toward ▶▶REVIEW during playback and release it at the point you want.**

* If you leave the unit after the tape has been wound or rewound, the batteries will be consumed rapidly. Be sure to depress  (eject/stop).

** The tape moves faster in the ▶▶/REVIEW mode than in the ▶▶/CUE mode.

Note

If the tape is completely rewound while searching backward during playback (REVIEW), the CUE/◀◀▶▶/REVIEW switch may not return to the center position when you release the switch. In this case, push back the switch to the center to start playback.

To increase the playback speed

Slide the FAST PB switch in the direction of the arrow. The playback speed will be increased.

To return to the original speed, slide the FAST PB switch to the original position.

Using Various Functions [E]

Tape counter

Before recording, press the reset button of the TAPE COUNTER to return to 000. It is useful to find the beginning of the recording.

Tape speed

Select the desired tape speed using TAPE SPEED.


2.4 cm for optimum sound (recommended for normal use): A 60-minute recording can be made using both sides of the MC-60 microcassette.

1.2 cm for longer recording time: a 120-minute recording can be made using both sides of the MC-60 microcassette.

Note

- Play back a tape with the same tape speed as that used for recording. If you are going to play back the recorded tape using another unit, select the 2.4 cm tape speed for recording. Otherwise, the sound quality may be changed.

VOR (Voice Operated Recording)

Set VOR to L or H. Press  (record), and the unit automatically starts recording the sound and pauses when there is no sound (you can save tapes and batteries).

H: To record at meetings or in a quiet place.

L: To record for dictation or in a noisy place.

When you use this system in a noisy place the unit stays in the recording mode. If the sound is too soft, on the contrary, the unit will not start recording. Set VOR to L (low) or H (high) depending on the conditions.

When you do not use this function, set VOR to OFF.

Notes

- The VOR system depends on the environment conditions. If you cannot get the desired results, set VOR to OFF.
- When using the VOR system, the unit starts recording only when a sound is detected, therefore, the beginning of the word may not be recorded. For an important recording, we recommend setting VOR to OFF.

To monitor the sound

Connect an earphone (supplied) firmly to the EAR jack. The sound for monitoring cannot be adjusted by VOL.

Start recording during playback

Press ● (record) during playback, recording starts immediately. It is useful when you want to re-record the portion which was just recorded.

Review the portion just recorded

Push up CUE/◀◀•▶▶/REVIEW toward ▶▶REVIEW during recording. Release the button at the point to start playback.

Recording cue markers

While recording, you can record a special signal on the tape to mark a specific position.

At the desired position, press CUE MARKER to record a signal. The REC lamp goes off and a signal will be recorded on the tape. If you want to record a signal longer than that, press CUE MARKER as long as you want. During cue and review, you will hear the beep sound at the signal position. During playback, you will hear the signal with low frequency sound at the signal position.

Notes

- We recommend recording cue markers when there is a break in the sound.
- During cue and review, the beep sounds differently.
- The beep may sound differently depending on the marked position on the tape because the winding speed varies from the beginning to the end of the tape.

At the end of the tape

In the recording or playback mode, the tape stops at the end of the tape and the locked buttons will be released automatically (Automatic shut-off mechanism).

After fast forward or rewind, be sure to set CUE/◀◀•▶▶/REVIEW back to the center.

Recording/Playback with the Connected Equipment

Notes

- When connecting cords, be sure you connect plugs firmly.
- The example uses Sony products. If you have any problem when using other products, read the instruction manual of those products.

Recording from another tape recorder

Set this unit to the recording mode and another tape recorder to the playback mode. In this case set VOR to OFF.

Dubbing onto another tape recorder

Set this unit to the playback mode and another tape recorder to the recording mode.

Recording with an external microphone

Connect a microphone to MIC. When using a plug-in-power system microphone, the power to the microphone is supplied from this unit.


► Additional Information


Precautions

On power

Operate the unit only on 3V DC. For AC operation, use the AC power adaptor recommended for the unit. Do not use any other type. For battery operation, use two size AA (R6) batteries.

On the unit

- Use only the **MICROCASSETTE**™ (standard microcassettes) with this unit. Non-standard cassette cannot be used because the "L" dimension (see Fig. ) is different.

To prevent a tape from being accidentally recorded over (see Fig. )

Break out and remove the cassette tabs. To reuse the tape for recording, cover the tab hole with adhesive tape.

- Do not leave the unit in a location near heat sources, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust or mechanical shock.
- Should any solid object or liquid fall into the unit, remove the batteries or disconnect the AC power adaptor, and have the unit checked by qualified personnel before operating it any further.
- When you do not use the unit for long, remove the batteries to avoid damage caused by battery leakage and subsequent corrosion.
- If the unit has not been used for a long time, set it in the playback mode and warm it up for a few minutes before inserting a tape.

Keep personal credit cards using magnetic coding or spring-wound watches etc. away from the unit to prevent possible damage from the magnet used for the speaker.

If you have any questions or problems concerning your unit, please consult your nearest Sony dealer.

Troubleshooting

Should any problem persist after you have made these checks, consult your nearest Sony dealer.

You cannot insert the cassette.

- The cassette is inserted front side back.
- ◀ (play) is pressed.

You cannot close the cassette compartment lid.

- The cassette is inserted into the wrong part (it should be inserted into the lid side).
- ◀ (play) is pressed.

Playback is not possible even if you press ◀ (play).

- The tape has reached the end. Rewind the tape.
- The batteries are weak. Replace both batteries with new ones.

You cannot press ● (record).

- There is no cassette.
- The tab on the tape has been removed. To reuse the tape for recording, cover the tab hole with adhesive tape.

You cannot press ● (record) and ◀ (play).

- The tape has reached the end. Rewind the tape.
- After the automatic shut-off, ◀ PAUSE is slid in the direction of the arrow.

Recording cannot be made.

- The batteries are weak. Replace both batteries with new ones.
- The head is contaminated.
- VOR has been set to the improper position when VOR function works.

Recording is interrupted.

- VOR is set to L or H. When you do not use VOR, set it to OFF.

Recording cannot be erased completely.

- The head is contaminated.

During CUE◀◀/▶▶REVIEW the tape stops or does not run.

You cannot fast-forward or rewind.

- The batteries are weak. Replace both batteries with new ones.

The unit does not operate.

- The batteries have been inserted with incorrect polarity.
- The batteries are weak. Replace both batteries with new ones.
- ◀ PAUSE is slid in the direction of the arrow.
- The AC power adaptor or car battery cord is not firmly connected.
- The batteries have been inserted, but simultaneously the AC power adaptor is connected and not to be done to the wall outlet.

No sound comes from the speaker.

- The earphone is plugged in.
- The volume is turned down completely.

The sound drops out, sound quality becomes worse or sound has excessive noise.

- The volume is turned down completely.
- The batteries are weak. Replace both batteries with new ones.
- The head is contaminated.

Tape speed is too fast or too slow in the playback mode.




- Improper setting of the TAPE SPEED switch. Set it to the same speed as that used for recording.

Tape speed is faster than the normal playback speed.

- The FAST PB switch is slid in the direction of the arrow.

Maintenance

To clean the tape head and path

Press ◀ (play) and wipe the head , capstan  and the pinch roller  with a cotton swab, moistened with alcohol every 10 hours of use.

To clean the exterior

Use a soft cloth slightly moistened in water. Do not use alcohol, benzine or thinner.